

# 事務事業チェックシート

事務事業No 622 事業名 3歳児保育等事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	2	幼児教育の充実
基本方針	3	幼児の教育機会の拡充と充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		幼稚園費	
	目		幼稚園管理費	
	大事業		幼稚園管理事業	
事項		3歳児保育等事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教職員課	加藤 正彦 (435-1196)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	多人数の園や学級、障害のある園児が在籍する園の保育環境を整備する。また、保育の質の改善を行うために、計画的に人数を増やす。	20人を超える3歳児学級、30人を超える4・5歳児学級、障害のある園児が多く在籍する園に幼稚園教諭免許を持っている非常勤講師を配置し、担任とともに複数体制で指導を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置した。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置する。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置する。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置する。	12園にて3歳児保育を実施し、20人以上の学級に補助教員を配置した。また、障害があると思われる園児が複数おり、特別に支援が必要と判断した園について補助教員を配置する。

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	40,444	39,902	50,788	49,980	52,306		59,672		59,672	
	伸び率 (%)	-	-	25.6%		3.0%		14.1%		0.0%	
	人件費	常勤職員	1,984	2,000	2,000	1,956	1,956		1,956		1,956
		非常勤職員									
		小計	1,984	2,000	2,000	1,956	1,956		1,956		1,956
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他		179	216	214	223		256		256	
	一般財源(税等)	40,270	39,723	50,572	49,766	52,083		59,416		59,416	
	所要人数	常勤職員	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26		0.26		0.26
		非常勤職員									
主な予算内訳		報酬費 42,900千円 共済費 7,421千円 旅費 1,985千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	保育補助教員配置数					年度目標値	20	25	25	30	30
						実績値	20	25			
	単位	人	全体目標値	30	全体目標達成度	66.7%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
	配置した園の数					年度目標値	12	12	12	12	12
						実績値	11	12			
	単位	園	全体目標値	12	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	83.3%	100.0%		
	成果指標	配置により保育が充実した園					年度目標値	11	12		
							実績値	11	12		
		単位	園	全体目標値	12	全体目標達成度	83.3%	年度別達成度	100.0%	100.0%	
					年度目標値						
					実績値						
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[有効性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	障害があると思われる園児は、年々増加傾向にあり、特別支援の充実が求められる状況が続いているが、保育補助員はその役割をよく果たしている。
「見直し」 「改善」案	幼稚園の特別支援の充実が図られるように、補助員の増員を検討したい。